

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 19 年度

市町村名	秩父市			
補助事業名	秩父ミュージズパークスポーツの森環境整備事業			
事業期間	19 年度 ～ 20 年度			
事業の必要性、目的	<p>当市は秩父ミュージズパークスポーツの森施設を市民と都市住民との地域間交流の拠点施設と位置づけ、秩父の自然や歴史、祭りや芸術等の文化など秩父の魅力を総合的に活用し、地域間交流を行ってきた。平成19年度はふるさと創造資金を活用し、プールの改修、フットサルコートを設置、ブロードバンドの環境整備、大学生等誘客促進事業を行ったが、継続事業の最終年度である平成20年度は、温泉施設の整備と（仮称）冒険の森の整備を行い、また、大学生等誘客促進事業を実施するものである。</p>			
成果指標	<p>（成果を検証する指標）</p> <p>交流拠点施設として位置づける秩父ミュージズパークスポーツの森利用者数</p>			
	<p>（成果検証の具体的な方法）</p> <p>スポーツの森施設（プール、テニスコート、コテージ、（仮称）冒険の森）の利用者数を18年度と比較して増減数及びその原因を分析する。</p>			
	<p>（上記の指標を設定した理由）</p> <p>スポーツの森施設の利用者数がスポーツの森施設に対する都市住民及び地元住民の関心度を示す指標であり、住民に対しても達成度を理解しやすいため。また、入込観光客では、他の施策による要素が加わってしまうため。</p>			
	<p>（成果の目標値）</p>			
	現状値 （18年度）	88,844人	目標値 （21年度）	100,000人
	<p>（施設建設等の場合）</p>			
	年間利用者数（目標）（人）	100,000人	稼働率（目標）（%）	—
住民への公表方法及び特記事項	<p>市のホームページにおいて目標値を住民に公表する。 「頑張る地方応援プログラム」秩父市ホームページ 【にぎわいと感動を「交流のちちぶ」創造プロジェクト】 http://www.city.chichibu.lg.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&wit_oid=icityv2::Contents::2976</p>			

【成果指標と事業の関連性】

※平成20年度補助事業を構成する各事業

補助事業を構成する事業	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① スポーツの森整備事業	<p>現在、コテージにはシャワーが完備されているが、宿泊者のニーズ及びプール、テニス、スカイロードのジョギングコース、フットサルコートの利用客が汗を流せる場としてコテージの敷地内の温泉施設を設置する。コテージを更に利用しやすい環境に整備することにより地域間交流を推進していく。</p> <p>また、無償譲渡後休業している広大なパー3ゴルフコースの起伏・形状を活かして「（仮称）冒険の森」の整備を行う。これは子どもたちの興味関心に基づいて環境に関する知識を高める場を提供するもので、さまざまな体験を経て仲間への信頼感を生み出せるようプログラム化された冒険ができるものである。また、健康ウォーキング等の整備も行う。</p>	80,000
② 大学生等誘客促進事業	<p>大学生等にコテージを利用してもらい、広く秩父のよさを知ってもらうことによりリピーターを作り、また、若者間の交流人口を増やす。さらに、秩父地域の企業を紹介することにより、「秩父に住んで働く」メリットをPRし、若者の定住促進を図る。</p>	3,500
合計		83,500

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	<p>平成19年度はプールの改修、フットサルコートの設置を行い、また、プール利用カードやふるさと秩父カードの頒布により利用者の拡大を図ってきた。平成20年度は、子どもからお年寄りまで幅広い年代が利用できる温泉施設の設置や（仮称）冒険の森を整備することにより、より一層交流活動を活発にする。また、引き続き秩父の魅力を伝えるPR活動を行う。</p> <p>大学生等の誘客促進についても、関係大学へ参加の依頼を行うとともに、求職サイトメールマガジンを利用し参加を確保する。</p>
成果指標の達成見込み	<p>スポーツの森整備を進めることにより、利用者のニーズに応えられる。また、住民のスポーツの森に対する注目度が増し、同時に平成19年度より本格稼働した観光専門のホームページ「秩父観光ナビ」や市のホームページにおいてPRすることにより、目標達成をより確実にする。また、大学生等誘客促進事業で大学生等にコテージ宿泊を体験してもらい、秩父の良さを感じてもらうことにより、リピーター化が図れ、今後の誘客促進につながる。</p>